



1 外国語教育関係研修会終了 ～各校で実践の充実を～

- 平成30年度の指導力向上研修会（小学校外国語教育担当教員指導力向上研修・中学校英語担当教員指導力向上研修／県内7事務所管内で開催）及びブリティッシュ・カウンシルによるカスケード研修会（小学校外国語活動中核者研修・中学校英語担当教員域内研修／県北・県南・会津・南会津・相双地区で開催）が終了いたしました。新学習指導要領（平成29年告示）に関する深い理解や未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を見据えた授業改善等、研修に参加された先生方の学びの場となりました。
- 研修の成果を今後の授業改善に活用するなど、各校での外国語教育の更なる推進に力を入れたいものです。新学習指導要領（平成29年告示）の全面実施を見据え、今までの指導法の「不易」の部分の大切にするとともに、子どもたちのために変わらなければならない「流行」の部分意識し、授業改善に取り組みましょう。

2 外国語教育 各管内の「風」：県北・県南・会津より

- 各教育事務所管内の外国語教育の推進状況を、ご報告いたします。それぞれの域内の特徴や強みを県全体で共有し、学習指導要領（平成29年告示）の全面実施に備えたいものです。

県北教育事務所 外国語教育の「風」

「ふくしま外国語教育推進リーダーの活躍」

～県北地区 外国語教育推進リーダー 佐藤圭美 教諭～

県北域内では、今年度、大玉村立大山小学校佐藤圭美教諭が推進リーダーとして外国語活動の充実に取り組んでいます。佐藤圭美教諭は、平成26年度からの3年間、在外教育施設（英語圏）に勤務しており、優れた英語力とともに、異文化についての豊富な知識や経験を有しています。本務校である大玉村立大山小学校及び玉井小学校において、3年生から6年生全ての学級の外国語活動の指導にあたりるとともに、本宮市立本宮まゆみ小学校及び岩根小学校においても、4年生全ての学級において各10時間、5、6年生全ての学級において各35時間の授業を実施する計画です。

佐藤圭美教諭の指導をとおして、子どもたちの中に、主体的に外国語にチャレンジしようとする姿が見られるようになってきています。また、4校においては、学級担任等、他の教員による参観を適宜実施することで、佐藤圭美教諭の優れた指導方法等の普及を図る取組が進められています。今後も、よりよい外国語活動の指導のあり方について多くの教員と共有できるよう、積極的な授業参観を呼びかけていきます。



県南教育事務所 外国語教育の「風」

「充実した授業実践及び研修会、そして外国語教育推進リーダーの活躍」

～県南地区 外国語教育推進リーダー 荒井 智 教諭～

小学校外国語活動の授業では、オールイングリッシュで授業を行う先生もおり、授業の流れもよくデザインされています。帯学習として語彙や基本表現の定着強化の学習活動、適切な場面設定によるメインの言語活動、まとめの学習といった流れがしっかりしています。中学校では、小学校との接続をスムーズにすることと、新学習指導要領のねらいのもと、「目的や場面、状況」を明確にした言語活動の積み上げがとても重要です。

次に、研修会についてです。「伝達講習を実施したところ好評だった」「これから研修会を計画しており、先生方の自信につなげたい」などの話をいただいております。研修会の意義が生かされ、効果が広がっているのを実感しています。さらに、昨年に引き続き行われた「学級づくり・授業づくりセミナー」においては、小学校外国語活動のブースを設け、講師として福島大学附属小学校の梅宮和喜子教諭に講師を務めていただきました。

最後に、ふくしま外国語教育推進リーダーの活躍についてです。県南には、荒井 智教諭が、白河市立みさか小学校に配属され、派遣先の白河市立白河第一小学校とあわせて450人の児童に授業を行っています。授業は大変エネルギーで、流れるように45分が過ぎていきます。パソコンで授業の流れを効果的に示し、児童に見通しを持たせ、映像や効果音なども駆使して児童の集中力を途切れさせません。本人は『目的や場面、状況』を明確にした言語活動を踏まえた授業づくりに力を入れていきたい」と話しており、今後の手腕の発揮を期待しています。なお、荒井 智教諭が在籍するみさか小学校は、「学びのスタンダード」推進事業のパイロット校の指定を受けており、研究の成果を研究授業で公開しています。荒井先生の外国語活動の授業も参観できます。

平成30年11月9日(金)13:00～ / 白河市立みさか小学校



会津教育事務所 外国語教育の「風」

「もっともっと学びたくなるワクワクの連続！ 子どもたちの笑顔があふれる外国語活動」

～会津地区 外国語教育推進リーダー 猪野真理 教諭～

猪野真理教諭は、会津若松市立城西小学校（本務校）、小金井小学校（派遣校）で外国語活動の授業を行っています。この日は、城西小学校5年生の授業で、自分の好きな物について英語で伝え合うことができるように、果物やスポーツの名称について学ぶ内容でした。教室には英語学習に関するカラフルな掲示物が貼られ、教室に入ってきた瞬間「楽しい外国語活動」がイメージされ、ワクワクする気持ちにさせてくれました。

そして、デジタル教科書を有効に活用し、チャンツから始まる授業はさらに期待をふくらませるものでした。猪野真理教諭が作成した教材は、プレゼンテーションソフトの機能を十分に生かし、ゲーム感覚で楽しみながらも自然に学習内容が身に付くよう工夫がなされていました。ALTの先生との息もピッタリで、子どもたちは2人のやりとりに目を輝かせていました。

この授業で特筆すべきは、教室で猪野真理教諭がたくさん英語を話しているということです。子どもたちは英語をたくさん聞いているため、話す英語もとても自然な雰囲気でした。ペアで活動したり、先生たちと掛け合いをしたりと、子どもたちの表情は明るく、意欲的に学ぶ姿が見られました。そして、授業の最後には、CAN-DOカードで自分ができるようになったことを書いて、授業の振り返りを行っていました。

工夫を凝らして教材を作成し、子どもたちの実態に合わせて活用することによって、楽しく学ぶ外国語活動の時間を創り出す猪野真理教諭。そのキラキラ輝く笑顔も印象的な授業でした。

